

店舗リーシングで 「SCゲート」紹介

再開発ビル活性化NW

再開発ビル活性化ネットワーク（藤山正道理事長）は22日、大阪市北区の市立総合学習センターで10月研修会を開いた。会員ら約20人が参加した。藤山理事長は「この会もこととして10年目を迎える。近年は地域に密着した小規模研修会を積極的に開き、問題点を吸い上げている。最終的には課題を洗い出すだけでなく、解決策も提示して活用していただけるようにしたい」とあいさつした。写真。



経営コンサルタンのリン・チームの中山博光社長と金藤純子専務取締役が同社のテナントリーシングツール「SCゲート」を紹介した。

SCゲートは、全国2000施設のショッピングセンターに入居するテナントについて、業種別構成比や増減推移などを掲載する有料インターネットサービス。ユーザーは検索条件を設定することにより、希望に合ったテナントリーシング候補を見つけることができる。

中山社長は「ショッピングセンターを運営するのに一番重要なのは、いいテナントを引っ張ってくる『リーシング力』。このサービスは、出店を希望する店舗とのマッチングにも活用していただける。リーシングにしっかり時間をかければ、ショッピングセンターは必ず生き残ることができる」と力説した。

研修会ではこのほか、駐車場総合研究所の大嶋翼会長と同社コンサルティング事業本部の横山譲氏が「最新の駐車場とマーケティング『パークアライザー』」について講演した。

